わかたけ学級　生活単元学習（災害安全）　　　　　　　場所　わかたけ１教室

地しんに備えよう

指導者　近藤　真紀

三枝　美帆

平井　勇人

**１　単元の目標**

　・地震時にどのような備えがあればよいか知る。

　・自分たちが安心できる備えを考える。

**２　新学習指導要領との関連**

資質・能力の三つの柱としての目標

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能の基礎 | 思考力・判断力・表現力等の基礎 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 地震時にどのような備えがあればよいか知る。 | 地震時にどのような備えがあれば安心できるか考える。 | 大きな地震があると普段と違う生活になることを知り、備えがあれば安心して生活できることを知る。 |

**３　単元について**

６月には地震時における避難の仕方について学習した。どのように行動したらよいか理解しつつある。本当に大きな地震があった場合、通常とは違う生活に戸惑う児童が出てくることが考えられる。実際に大きな地震があった時に困ることを考えるたけでなく、どのような備えがあれば安心して生活できるか考えさせたい。

**４　安全教育の視点に迫るための手だて**

　・簡易トイレや非常食など実物を用意し、興味をもって取り組めるようにする。

　・暗闇体験などの体験を通して、何があれば安心できるか考えられるようにする。

**５　指導計画（５時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ○主な学習活動 | ◎指導上の留意点　■評価  ☆安全教育の視点に立った留意点 |
| １ | ○地震によって困ることを考え、避難所について知る。 | ◎学習活動の見通しをもたせる。  ■地震によって普段と違う生活になることを知る。 |
| ２  (本時) | ○水が出ない時にどのような備えがあればよいか考える。 | ☆簡易トイレなど実物を用意し、体験させる。  ■水が出ない時に必要な備えを考えている。 |
| ３ | ○電気が使えないときにどのような備えがあればよいか考える。 | ☆教室を暗くして、どのようなものがあれば安心するか考えさせる。  ■電気が使えない時に必要な備えを考えている。 |
| ４ | ○ガスが使えないときにどのような備えがあればいか考える。 | ☆寒いときにどのようなものがあればよいか考えさせる。  ■ガスが使えない時に必要な備えを考えている。 |
| ５ | ○地震への備えについてまとめる。 | ☆今までの学習を振り返り、自分たちが安心できる備えを考える。  ■自分たちが安心できる備えを考えることができる。 |

**６　本時の展開 （２／５）**

**（１）ねらい**

・水が出ない時にどのような備えがあればよいか考えることができる。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動  ・予想される児童の反応 | ◎教科の留意点　■評価（評価方法）  ☆安全教育の視点に立った留意点 |
| ○前時を振り返る。  　・水、電気、ガスがないと困る。  ○本時の学習課題を確認する。    水が出ない時、どのような備えがあればよいか考えよう。  ○水が出ない時、困ることを考え、発表する。  　・水が飲めない。  　・ご飯が食べられない。  　・お風呂に入れない。  　・トイレの水が流れない。  　・洗濯ができない。  ○どのような備えがあると安心するか考える。  　・水が飲めない。→　水を置いておく。  　・ご飯が食べられない。→　非常食を用意する。  　・お風呂に入れない。→　体をふく。  　・トイレの水が流れない。→　簡易トイレを用意する。  　・洗濯ができない。　→　着替えを用意する。  ○簡易トイレをつくって体験し、感想を発表する。  ・座りにくい。  ・大丈夫そう。  ○本時を振り返り、ワークシートに記入する。 | ☆地震があったら、どのようなことが困ったか思い出させる。  ☆困っていたら、前時のカードを提示して考えさせる。    ◎何があると安心できるか考えさせる。  ◎実物を用意し、体験させる。  ☆自分たちでつくれる簡易トイレを用意する。  ☆様々な形の簡易トイレを用意する。  ◎個々に応じたワークシートを用意する。  ■水が出ない時にどのような備えがあればよいか考えることができる。【思・判・表】（ワークシート） |